

2024年新春宣伝1月9日(国民春闘共闘)

24春闘 企業は莫大な内部留保の活用を 労働組合の力で物価高上回る賃上げを 改憲反対、軍拡・戦争反対！

東京駅丸の内北口で宣伝 出勤の労働者に訴える

国民春闘共闘は1月9日、東京駅北口で、春闘の宣伝を行いました。

午前8時から9時まで宣伝を行いました。東京駅北口から横断歩道を渡って次々と丸の内の労働者が出勤してきます。

そこに対し、「労働組合で声を上げれば賃上げできる！」のビラを寒い中でしたが、まきました。

24春闘 物価高騰上回る賃上げの実現を要求しよう

冒頭挨拶にたった全労連議長の小畑さんは、「企業の内部留保は511兆円を超える。賃上げはできないのではない。

賃上げを抑制し、大幅なコスト減らしで、利益を膨らませ内部留保を積み増してきた。この構造を変えることが必要。財界へのお願いだけで物価高騰超える賃上げはできない。

国民春闘共闘は、この春闘で、10%以上、月額3万円以上、時間額190円以上を掲げてたたかう。

労働組合に入って、たたかきましょう。一人でも入れる労働組合がある。入って大幅賃上げを勝ち取ろう。

最低賃金は、東京では、1113円になったが、それでも、物価が高騰する中で、生活はできない。1500円以上にすることが必要。岸田首相は、10年先に1500円にするというが、それでは今の私たちの生活は守られない。

軍拡予算の拡大、増税に反対する。国民の暮らしを守る予算を増やしていく必要がある。

5年間で43兆円も軍事費に使おうとしている。日本をアメリカのミサイル戦略に組み入れ、戦争体制に動員するものだ。戦争できるように憲法も変えようとしている。

あまりにも国民生活を犠牲にするものだ。

軍事費を増やすのではなく、いのち、暮らしを守る政治に変えることが必要だ。社会保障、子育て、教育の充実を求める24国民春闘にしたい。ともに頑張ろう。」と力強く訴えました。



冒頭で訴える小畑全労連議長

千代田区春闘共闘議長 茂呂さんが訴え

5番目に千代田区春闘共闘議長の茂呂さんが、訴えました。

東京駅ご通行中の皆さま 新年あけましておめでとうございます。千代田区内の労働組合などで結成する千代田区春闘共闘委員会の茂呂と申します。

おめでとうとは言いましたが、新年早々、元日から続く能登半島地震による被災、翌日の羽田の航空機事故と暗い話ばかり続き、明るい気分になれない方も多いと思います。

被災された方、ご家族の皆さまに、お見舞い申し上げるとともに、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りいたします。

一日も早い復興、生活の再建を願っています。

海外では ウクライナ、ガザで引き続き、戦闘が継続し、多くの方が被害を受けています。



訴える茂呂議長

政治とカネの問題解決し、物価高対策の消費税減税を

国内をみれば、パーティ券の問題、政治とカネの問題がまたしても噴き出しました。与党の派閥への立ち入り調査、国会議員の逮捕と続いています。

政府・自民党は、国民生活そっちのけで、その火消しに躍起になっているというところでしょうか。

私たちの生活に立ち返れば、去年は物価の高騰が生活を直撃しました。物価高騰は、おととしから続いています。今もなお大変な状況です。

対する政府の対策は、所得税と住民税の減税、実質的に1回だけ、これでは全く不十分です。生活支援というならば、継続的な対策が必要です。対象が限られることも問題です。

物価高騰対策として、具体的には、まず消費税の税率引き下げが求められます。5パーセントに戻すことが多くの政党から要望され、与党内からも意見が出てきています。

多くの国がコロナ禍のさなかに、消費税に相当するような税金の税率を下げました。世界的な物価高騰の中、100を超える国がそれを継続しています。

日本の政府は、物価高騰の中、なぜ消費税率を下げないのか。私たちはこれまでも消費税率引き下げを求めてきました。ぜひとも実現したい。

ちなみに、3大税収、法人税・所得税・消費税ですが、消費税の税収が所得税の税収を超えました。物価高で消費税収が上がったのです。法人税の比率が下がった分は、大企業の内部留保になっています。

皆さん節約に努めていると思いますが、物価高騰がそれだけ大きいということと、所得・賃金が上がっていないことの現れとも言えるのではないかと思います。

内部留保を賃上げに回せ！

内部留保を働くものの賃上げに回すべきです。

私たち労働組合にできること・すべきことは、まずは賃上げです。

日本の賃金は、30年近く上がっていませんでした。

昨年、春闘でバブル期以来とも言われる大幅賃上げがありました。しかし、残念ながら、それでも不十分でした。物価高騰には全く追いつきませんでした。

また、多くの中小企業は、賃上げをしたくてもできないところもありました。大企業と中小企業、これまで以上に、格差が広がる懸念もあります。

それでも、昨年的大幅賃上げ、やればできると自信を与えてくれたと思います。

24春闘でも、しっかりと取り組みを進め、大幅賃上げを獲得していきましょう。

最低賃金引き上げて1500円に

次に最低賃金、昨年、過去最大のアップ率で、全国平均が1000円を超えました。1004円に。東京都は1113円、国内最高ですがまだまだ不十分です。これでは安心した暮らしはできません。

世界では2000円の水準です。地域によっては3000円の水準というところもあります。早期に、まずは1500円を実現しましょう。

さて、私たちの納めた税金がどのように使われるか。

政府予算では防衛費・軍事費が大幅アップ、2023年度は7兆円近くに。5年間で43兆円も使う。ミサイルなどの兵器を大量購入するようですが、円安が続いていますので、これでも足りなくなってしまうのではと心配になります。

そもそも、このようなことに私たちの税金をつぎ込むのではなく、私たちの生活のために使ってほしい。軍拡路線では対立を深めるだけです。いつ軍事衝突が起こるかわからない、ウクライナ、ガザが示している。

北陸の震災に対しては、多くの国から支援・援助の申し出があったようです。対立ではなく協力、このような考え方が世界に平和をもたらすのではないのでしょうか。

兵器や軍備に使うのではなく、震災からの復興など、税金を私たちの生活に使ってほしい、そのことが世界平和にもつながると確信します。

多くの課題がありますが、私たちの生活を守るうえで、これからの一年も重要な年です。

私たちも奮闘します。ぜひとも皆さん、ご協力をお願いします。

労働組合に入って生活を改善しましょう。

今、能登半島地震の支援募金もやっています。ご協力を。

(千代田区労協事務局長 小林秀治)

1.12 丸の内昼デモ 経団連包囲 24 春闘宣言行動

1月12日、国民春闘共闘は、丸の内から東京駅前を通って経団連前まで、デモ行進をしました。千代田区労協からも参加しました。

そして、経団連前で経団連に向けて、社会的責任を果たし、大企業の内部留保を使って、物価高を上回る賃上げを求めました。それが、経済にも良い影響を与えとも訴えました。



丸の内仲通りを埋めたデモ隊



経団連前で訴える

※皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしております。

* 千代田区労協通信バックナンバー / http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2023.htm

お知らせ

2024年1月27日(土) 13時から17時まで 水道橋駅近かの全水道会館5階中会議室
24春闘討論集会(千代田区春闘共闘)を開催します。学習と討論、交流をします。

講演 「政府・財界の労働市場改革と賃上げの行方」

講師 藤田 実さん(根美林大学教授・経済学)

*各単組や争議団、個人の参加をお待ちしています。ZOOM参加あります。
出欠について、千代田区労協へご連絡をお願いします。